



来待小だより

7月号

令和8年7月17日(金)

松江市立来待小学校

校長 村上 幸人



来待小ホームページ



7月17日(金)で1学期が終わりました。新しい先生や友達を迎え、進学・進級してからあっという間の4カ月間でした。日々の学習や行事へのチャレンジを通して、こどもたちはそれぞれに大きな成長を見せてくれました。

「楽しく「明るく」元気な学校」 これは6年生を中心に考え、児童総会で示された今年度の校風です。来待小学校らしさがしっかりデザインされ、昇降口に飾られています。こどもたちが楽しく「明るく」元気に過ごしている姿を随所に見ることができ、教職員一同、喜んでおります。

さて、「時は金なり」という言葉があります。時間はお金と同じように大切に、一度過ぎた時間は戻ってきません。だからこそ、限られた時間をどのように使うかが、とても重要になります。学校生活においても、学習の時間、友達と過ごす時間、休む時間を自分なりに考え、計画的に過ごすことが、充実した毎日につながります。夏休みは、普段よりも自由に使える時間が増える分、自分で計画を立てる力が試される時期でもあります。

ぜひ、ご家庭でもお子様と一緒に「どんな夏休みにしたいか」「1日をどのように過ごすか」を話し合い、時間を大切にする習慣を育てていただければと思います。そして、自由研究で何かを発見する、自分のオリジナル作品を工作したり絵や書で描いたりする、読書をして心を耕す、テーマを決めて作文を書く、楽しいお話を作ってみる、昆虫や生き物を飼ってみる、運動やスポーツに励む、などチャレンジしてほしいと思います。コンクール等に応募すると賞がもらえるかもしれません。やりたいことが見つかると、より一層楽しい夏休みになることでしょう。

始業式に、ひと回り成長した元気な子どもたちに会えることを、そしてさらなる活躍する姿が2学期も見られることを楽しみにしています。健康や事故には気をつけてお過ごしください。



来待っ子太鼓の練習が始まりました(6年生)



来待小学校の伝統である「来待っ子太鼓」の練習が6月12日(金)から始まりました。今の6年生は第24代目になります。

教えてくださるのは、宍道太鼓の藤原篤史さんです。大きな太鼓を運び、準備を整えました。そして、ばちを手に持って太鼓をたたくと、体育館に大きな音が響き、体にその振動が伝わってきました。最初はばらばらだった音が、短時間の練習で少しずつ揃ってきている手応えが感じられました。とても意欲的に練習に取り組んでいます。これまで見てきた先輩たちの来待っ子太鼓を、遂に自分たちがする番となりました。太鼓を通じて、みんなで力を合わせ、自分の役割をしっかりと行い、カッコよく成長していく姿が楽しみです。ご期待ください。



気合を入れて太鼓練習



自分たちの力で楽しい思い出を！（宿泊研修・5年生）



6月25日（木）～26日（金）に、5年生は県立青少年の家サン・レイクへ宿泊研修に出かけました。家庭を離れ、自分たちだけでの一泊二日の生活を送りました。

座禅体験、カプラ・ニュースポーツ、キャンドルの集い、サバニ体験、レザークラフトなど楽しい活動を行いました。食事、入浴、就寝や起床、健康管理などもきちんと行うことができました。

「自分をみがいて輝こう！」と規律・協同・友愛・奉仕を合言葉に取り組みました。ここで学んだことが、今後の生活に生きてくることでしょう！

●5年生の感想（要約しています）

- ・一畑薬師で座禅をして、パンパン…パンパン！！パンパン…パンパン！と他の人の音を聞くだけで、こわかったです。2回目をする人はすごい！！って思いました。
- ・キャンドルの集いでは、ショートコントのダンスが大大はずかしかったです。歌もちょっとずれていて間違えたけれど、楽しかったです。キャンドルのろうそくの火がきれいでした。落ち着きました。
- ・サバニ体験で、最初はみんな漕ぐのがバラバラだったけれど、少しやっていくうちに合うようになりました。途中で後ろの班に抜かれて悔しかったです。でも、息の合ったサバニになりました。
- ・サン・レイクでは、友達といろいろな事をするのが、とっても楽しかったです。全部楽しかったです。もう一度行きたいです。



息を揃えて進んだサバニ



粘り強く積み上げたカプラ



来待川の調査をしました（4年生）



4年生は学校の来待川について学習しています。5月に県環境生活部や環境アドバイザーの方にご指導いただき、来待川の水質を薬品や濁り具合を見て調べました。

7月3日（金）には地元にお住いの関野治男さんに来ていただき、昔の来待川の様子についてお話をいただきました。川は小学生にとって遊び場であり、服のままで入って生き物を取ったり泳いだりしていたそうです。洗濯をしたり野菜を洗ったりなど生活に身近な場所で、土手に降りた多くの人を見る生活風景だったと聞きました。「そんなことができていたの」と驚いた人もいました。

7月7日（火）は網をもって川に入り、生き物を探しました。指標生物（その生き物がいるかどうかで水のきれいさを判断する）で水質が判断できることを学びました。たくさんの生き物がいて、夢中で探しているうちに、気がつけば服のままで川に入って楽しんでいる人もいました。

2学期も学習を続けていきます。何を学び、何を発見できるのか、今後の成果が楽しみです。

●ご寄贈のお礼

新聞ニュース（年間購読）を、山陰防水建材有限公司様より今年度もご寄贈いただきました。おかげさまで、こどもたちは社会のニュースを分かりやすく知ることができます。ありがとうございました。（1階廊下に掲示しています）



川に入って生き物探し